



第4回HAB研究機構市民公開シンポジウム

近未来の医療を語る

—遺伝子情報が変える個人の医療—

「自分の遺伝子情報を知る意味

—30万人のゲノム解析プロジェクト—

中村 雅美 先生（株式会社日本経済新聞社）

「ゲノム研究を支える社会基盤」

増井 徹 先生（国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部）

「ゲノム創薬の現状と展望」

山崎 恒義 先生（共立薬科大学 研究開発センター）

「テーラーメイド医療とゲノム創薬」

辻本 豪三 先生（京都大学大学院 薬学研究科）

「最先端研究と社会の調和

—ヒト組織の研究利用の現状と問題点—

小林 英司 先生（自治医科大学 分子病態治療研究センター）

日 時：2004年5月19日(水) 14:00～17:30

会 場：昭和大学・上條講堂

参加費：無 料

お問い合わせ・申し込み

特定非営利活動法人HAB研究機構 市民公開シンポジウム事務局

〒272-8513 千葉県市川市菅野5-11-13

市川総合病院 角膜センター内

担当：新倉 靖子

TEL:047-329-3563 / FAX:047-329-3565

E-mail: information@hab.or.jp / <http://www.hab.or.jp>